

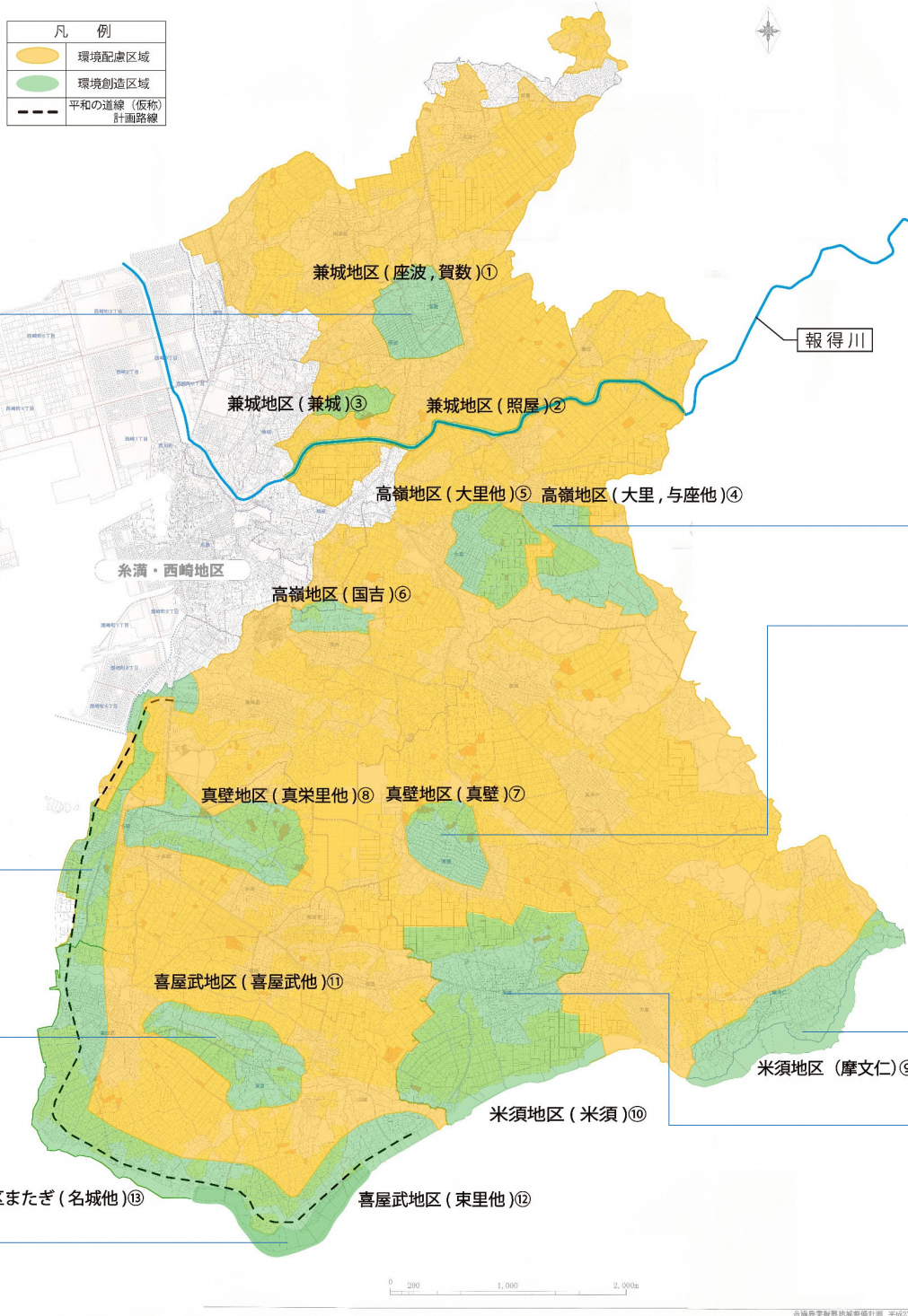
兼城地区

- ① 貴重種のクロイワゼミが生息し、洞穴や質数グスク、座波・嘉数の竈等の資源が分布している区域です。そのため、事業実施にあたっては、こうした自然環境や地域資源の保全が求められることから、環境創造区域に設定します。
- ② 兼城地区と高嶺地区の地区境を流れる報得川は、市民の暮らしの中に貴重な水辺環境を提供する区域です。事業実施にあたっては、市民の暮らしに密着した水辺環境や景観を保全していくことが求められることから、環境創造区域に設定します。
- ③ 貴重種のクロイワゼミが生息し、潤いのある水辺環境を形成する報得川が近接した区域です。市街地の住民にとっては身近で生き物が生息する貴重な自然環境を提供する場となります。そのため、事業実施にあたっては、こうした自然環境への配慮が求められることから、環境創造区域に設定します。



農地への散水

糸満市田園環境整備マスタープラン区域区分図



地区またぎ

- ⑬ 現在、高嶺地区から真壁地区、喜屋武地区にかけて、海岸に沿う形で「県道平和の道線（仮称）整備事業」が進められています。同事業の実施に先駆けて環境影響評価を実施しており、整備路線に沿って多くの貴重な動植物が確認されています。そのため、道路に沿って貴重な動植物が確認されたエリアについては、環境創造区域として道路整備以外においても環境に配慮していくものとします。

喜屋武地区

- ⑪ 貴重種のワタセジネズミやトゲイヌツゲが生息・生育しているほか、洞穴やグスク等の自然環境や歴史資源が多く分布している区域です。事業実施にあたっては、こうした環境や資源の保全が求められることから、環境創造区域に設定します。
- ⑫ 喜屋武・荒崎海岸でみられる隆起珊瑚礁とその上部に生育する植栽群が良好な自然環境とともに、こうした環境と海岸、海が彩る良好な景観をみることができま。こうした貴重な自然環境や景観は、地域の貴重な資源であるとともに、集客性の高い観光資源でもあり、地域活性化に寄与するものとなります。そのため、事業実施にあたっては、こうした自然環境や景観を喪失・低下させることがないよう配慮が求められることから、環境創造区域に設定します。

高嶺地区

- ④ 貴重種のイシカワシジミやシマジリスミレ、リュウキュウツルコウジ、ショウキラン等の動植物が生息・生育しているほか、サワガニが生息する与座川の水辺環境・与座岳・与座城など、豊かな自然・歴史環境が分布している区域です。事業実施にあたっては、生物の生息・生育域をはじめ、自然・歴史環境や資源の保全が求められることから、環境創造区域に設定します。
- ⑤ 嘉手志川の空間が形成する水辺環境のほか、南山城跡等の歴史資源が分布しています。また、農道と集落道の整備が計画されており、施工にあたっては水辺環境や歴史資源等の喪失や生態系ネットワークを分断しないよう配慮が求められることから、環境創造区域に設定します。
- ⑥ 貴重種のイシカワシジミが生息しているほか、グスクや宇国吉守護獅子等の歴史資源が分布しています。事業実施にあたっては、こうした自然環境や歴史資源の保全が求められることから、環境創造区域に設定します。



嘉手志川とかんがい整備記念碑



金城増治家住宅主屋

真壁地区

- ⑦ 洞穴やアンディラガマ等の貴重な自然環境をはじめ、金城増治家や萬華之塔の慰霊碑等の歴史資源のほか、琉球大学がコウモリ研究を行っており、自然、歴史や学術的にも貴重な環境がみられる区域です。事業実施にあたっては、生態系や歴史の観点から後世への継承が求められるこうした環境の保全に向けて、環境創造区域に設定します。
- ⑧ 貴重種のイシカワシジミが生息しているほか、洞穴、湧水、グスク、轟ノ壕等の自然環境や歴史資源が分布している区域です。事業実施にあたっては、こうした環境や資源の保全が求められることから、環境創造区域に設定します。



シマジリスミレ



デンノウメ

米須地区

- ⑨ 貴重種のイシカワシジミやクロイワゼミ、オキナワヒヨドリジョウゴ、テンノウメ等の多様な動植物が生息・生育しているほか、グスク等も分布している区域です。事業実施にあたっては、こうした自然環境等の保全が求められることから、環境創造区域に設定します。
- ⑩ 同地区は、平成29年3月に「米須集落景観形成重点地区基本計画」が策定され、景観形成重点地区に指定されています。同計画内において、同地区は斜面緑地ゾーン、集落ゾーン、農地ゾーン、海辺ゾーンに分類され、それぞれのゾーンで特徴ある景観が形成されています。こうした景観は、本市や本地区の生活や自然、歴史、文化等を表しているものであり、後世に伝承していく貴重な地域資源といえます。そのため、事業実施にあたっては、計画的に形成・保全されているこうした景観を喪失しないよう配慮が求められることから、環境創造区域に設定します。



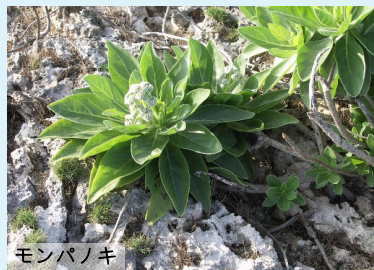
オリオオコウモリ



クロイワトカゲモドキ



イワタイゲキ



モンパノキ



クロイワゼミ



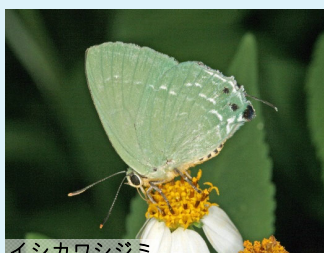
ワタセジネズミ



チョウサギ



ムラサキサギ



イシカワシジミ



南山の石積み



にんじん畑

貴重種リスト

類名	目名	科名	種名	環境省	沖縄県	固有種	備考
哺乳類	翼手目	オオコウモリ科	オリイオオコウモリ		準絶滅危惧種		
	齧歯目	トガリネズミ科	ワタセジネズミ	準絶滅危惧 (NT)	準絶滅危惧種		
両生類	サンショウウオ目	イモリ科	シリケンイモリ	準絶滅危惧 (NT)	準絶滅危惧種	○	沖縄・奄美諸島固有種
爬虫類	ヘビ目	ヤモリ科	タシロヤモリ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	情報不足		
			オガサワラヤモリ	絶滅の恐れのある地域個体群 (LP)			
			クロイワトカゲモドキ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅危惧Ⅱ類	○	県指定天然記念物
		トカゲ科	オキナワトカゲ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	準絶滅危惧種	○	
		ヘビ科	アマミタカチホヘビ	準絶滅危惧 (NT)	準絶滅危惧種	○	
		クサリヘビ科	ヒメハブ	絶滅危惧ⅠA類 (CR)	絶滅危惧Ⅰ類	○	

ミティゲーション（環境配慮）5原則

【回避】

行為の全体または一部を実行しないこと

例）沿岸帯の流入部に生息する水生植物群落に配慮し、現状のまま保全 等

【最小化】

行為の実施の程度または規模を制限すること

例）水辺の生物の生息・生育が可能な自然石及び自然木を利用した護岸とし、影響を最小化 等

【修正】

影響を受けた環境そのものを修復または回復すること

例）分断されている水域と後背地の連続性が確保されるよう施工等を行うことにより修正 等

【影響の軽減／除去】

行為期間、環境を保護及び維持管理すること

例）環境確保が困難な場合、一時的に生物を捕獲・移動し影響を軽減

【代償】

代償の資源または環境を置換または提供すること

例）希少種が生息・生育する湿地等を工事区域外に設置し、同党の環境を確保 等

資料：田園環境整備マスタープラン作成ガイド（農林水産省）

【問合せ】

糸満市役所 経済観光部 農村整備課

〒901-0392沖縄県糸満市潮崎町1丁目1番地 TEL.098（840）8136 Fax.098（840）8153

シマチスジノリ

和名：シマチスジノリ

分類：チスジノリ目 チスジノリ科（紅藻類）

環境省カテゴリ：絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）（沖縄県RDBでも同じカテゴリ）

県内の分布：沖縄島、宮城島、宮古島、波照間島

生育環境：清澄な湧水の井戸で見られ、半日陰の壁面や底の礫などに生育する。

解説：

配偶体の藻体は細状で暗紅紫色、体長は60 cm ほどになり、基部から数回不規則に分枝する。皮層にある同化糸は長さ300-800 μm になる。雌雄同株。単孢子嚢は同化糸の基部に作られる。稀に有性生殖器官が見られる場合もあるが、ほとんどが単孢子などで無性的に増殖しているようである。藻体は周年観察されるが、夏季には少なくなる傾向が見られる。

市内では、国吉の井戸で確認されている。

貴重種リスト

類名	目名	科名	種名	環境省	沖縄県	鳥種
鳥類	コウノトリ目	サギ科	ヨシゴイ	準絶滅危惧 (NT)		留
			リュウキュウヨシゴイ		準絶滅危惧種	留
			チュウサキ	準絶滅危惧 (NT)	準絶滅危惧種	冬
	ワシタカ目	ワシタカ科	サシバ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)		旅
	ツル目	ミフウズラ科	ミフウズラ		準絶滅危惧種	留
	チドリ目	チドリ科	シロチドリ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	準絶滅危惧種	留
		シキ科	ハマシギ	準絶滅危惧 (NT)		冬・旅
		カモメ科	ベニアジサシ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	準絶滅危惧種	
			エリグロアジサシ	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	準絶滅危惧種	
			セグロアジサシ		準絶滅危惧種	
		コアジサシ		絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅危惧Ⅱ類	
	フクロソウ目	フクロウ科	リュウキュウコノハズク		準絶滅危惧種	留
	ブッホウソウ目	カワセミ科	カワセミ		準絶滅危惧種	留
	スズメ目	ヒヨドリ科	シロガシラ		準絶滅危惧種	留

資料-環境省レッドリストカテゴリ

絶滅 (EX)	我が国ではすでに絶滅したと考えられる種
野生絶滅 (EW)	飼育・栽培下、あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態でのみ存続している種
絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)	絶滅の危機に瀕している種
絶滅危惧ⅠA類 (CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
絶滅危惧ⅠB類 (EN)	ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅の危険が増大している種
準絶滅危惧 (NT)	現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
情報不足 (DD)	評価するだけの情報が不足している種
絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

糸満市田園環境整備
マスタープラン

糸満市